



学校だより

学校教育目標

〈す〉すんで 〈み〉みんなで 〈れ〉いをつくして 〈か〉んばりつづけて 〈お〉もいあって 〈か〉がやきつづけるすみれっ子
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

9月号

令和8年8月31日
横浜市立すみれが丘小学校

安心できる場所

校長 藤本 光子

夏休み中に、地震や大雨など各地で自然災害が発生しました。被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

夏休み明け初日、校舎内を回っていると、元気にゲームをして盛り上がっている教室や休み明けのテストに集中している教室など様々ある中で、すみれが丘の地域について調べているクラスを発見しました。聞いてみると、この夏の大雨による災害が話題になり、自分達の地域はどうなっているのかと防災マップで調べていたそうです。すみれが丘小学校は河川から離れたところにあり、学区内の危険箇所は少なく見えます。しかし、近年の気象は私たちの経験や想像を超えるものになってきています。いつ、どんな形で起こるか分からない自然災害に備えることの大切さを、どのように子どもたちに伝えていくべきなのか、改めて考えさせられました。

さて、夏休み明けの学校では、いつも以上に子ども達の様子を丁寧に見るよう心がけています。初日の朝会では私から、長いお休みが終わると、いろいろな気持ちが生まれることや、人は生活のリズムを取り戻すのに2週間程度時間がかかることなどを子ども達に話しました。そして、担任の先生はもちろん、他の先生でも誰にでも相談してよいことや、ちょっとしたことも話してほしいと伝えました。

次の日の朝、校門に立って登校を見守っていると、一人の子が門に入る直前で立ち止まりました。登校時刻ぎりぎりでしたが、私の顔をじっと見つめて止まったままです。

「どうしたの？」と声をかけると、少し元気のない声で「今日漢字テストがあるんだ。」とぼつりと言いました。私は、不安なのかもしれないと予想して、こんな会話を続けました。

「どれくらいできそうなの？」

「80点ぐらいかな。」

「80点もできるの？できる方が多いじゃない！」

「でも、だめだったら再テストになるんだ。」

「再テストしてくれる先生なの？できないままにならないからラッキーだね。2回もチャンスがあるんだね。」

そう伝えると、緊張が解けたのか、にこっと笑って、

「じゃあ、行ってくる！」

と校舎に入っていました。

小さな不安も言葉にするだけで、すっきりすることもあります。子どもの発信を見逃さないことが、安心につながる第一歩です。子ども達にとって、学校が安心して過ごせる場所になるよう今後も取り組んでまいります。

<https://www.townnews.co.jp/0104/2026/07/09/844004.html>



4年生の総合の時間での取り組みが紹介されました